

# Handsome

発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 福田一哉 編集責任者:植田寿雄 制作・編集:メディアコミュニケーション委員会 印刷所:東京印刷(株)

## 11月例会開催 Jリーグの舞台で共に戦おう!!

平成18年11月15日(水)ホテルサンルート米子において、地域スクラム委員会担当による11月例会が開催された。冒頭、福田会長より「先日、ビジネス交流委員会のオープン委員会に参加しました。そこで永瀬正治初代会長より、『青年経済団体においては、未来を生きる自分たちが未来に対し責任を持った行動をすることが大切である。』とお話がありました。是非、例会に出席することで自らを育て、会社や地域に還元していただきたいと思います。」と挨拶があった。続いて福田会長待望の新入会員バッジ授与が行われ、新入会員の内藤幸一会員、永田健司会員両名の胸にTSCのバッジが輝き、会員手帳の贈呈も行われた。

委員長タイムでは、わくわく発掘委員会の増井委員長が「VEってなに？」と題して講演された。建設業関連では良く使われる「VE」であるが、それは、コストを削減し、利益を確保しながら顧客満足を損なうことなく代替案を作成していくものであり、ビジネスの面でも理解を深めれば十分活用できる手法であるとの事であった。

例会は「SC鳥取が街を変える。」と題し、SC鳥取代表の尾形弘次郎氏、日本サッカー協会国際委員の傍士銃太氏、山陰合同銀行地域振興部長の中ノ森寿昭氏(当会OB)、やまつみスポーツクラブ理事の夏野慎介氏(当会OB)の4名をパネリストにお招きし、パネルディスカッション形式でSC鳥取について語り合った。土岐委員長のコーディネートにより、SC鳥取の現状、問題点と未来について多くの意見が出された。具体的な例として、傍士氏より「ファジャーノ岡山というクラブでは現在4,000～7,000名の観客動員がある。地域密着で活動することは非常に時間の掛かることであることを認識し、まずやったことは未来をにう子供たちの夢の対象になるし、試合後のサッカー教室、地域での活動を中心として子どもたちがクラブの試合を見に来てくれる。親や家族も一緒に来てくれる。また、スタジアムに近い商店街との連携など地道に時間を掛けてやってきた成果です。」と説明された。



現在SC鳥取は、米子市立東山陸上競技場をホームグラウンドとして戦っています。しかし、ホームの選手たちの着替えるところは陸上のハードルが置いてあるような物置小屋、米子市からは週に1度の練習しか認められておらず、米子工業高校の土のグラウンドを借りて練習しているのが現状です。

J2に上がれば3,000人以上の観客を収容できるホームグラウンドを常備する必要もあり、このままでは将来、SC鳥取のホームは当然鳥取市のバードスタジアムになるのは歴然とした事実であるのです。

街にJのトップチームがあれば年間の経済波及効果は20～30億とも言われます。子供たちはJのトップチームにあこがれ、夢を見続けることが出来ます。SC鳥取が世界の舞台で戦う日が来るかも知れません。私たち中央会はSC鳥取と共に夢を見続けていきたいと強く感じた例会でした。そのためにはまず、米子市のランドマークとして「伯耆大山スタジアム」の建設を夢見ていきましょう。(記事:岩田)



### 鳥取県西部中小企業青年中央会11月例会に参加して

SC鳥取 代表 尾形 弘次郎

この度は、貴重な例会にお招きいただきまして誠にありがとうございました。すばらしい3名のパネラーとSC鳥取がなぜこのまちに必要なのか、単にスポーツではなくまちづくり人づくりに繋がっていく事をお伝え出来たかなと思います。是非、商都米子復活の切り札としてSC鳥取ガイナールのJ昇格と米子駅スタジアム実現に向けて行動



を起こしましょう。例会後の2次会の勢いがあれば必ず出来ると確信しました。

### SC鳥取～Jへの挑戦～

やまつみスポーツクラブ 理事 夏野 慎介

この度は、11月例会に参加させていただき、久々に例会の雰囲気を楽しませてもらいました。今回のテーマ「SC鳥取」について他のパネリストと語らせていただきましたが、全員がSC鳥取あるいはサッカー協会関係者であり、SC鳥取への支援の必要性ばかり力説し、反対意見など一切ない状態だったことはお詫びいたします。さて、SC鳥取がJリーグを目指すことは容易なことではありません。プロのサッカーチームとなり運営するには、三つのベクトルがあるとされています。「①成績」「②経営」「③地域主義(公益性)」。このことは、私たちの会社経営でも言えることではないのでしょうか。地域主義を考え、身の丈にあった運営を心がけたいものです。なお、パネリスト全員で朝日町に繰り出し、当日午前0時解禁のボジョレーヌーボーで祝杯を上げたことをご報告いたします。ありがとうございました。



## 委員会 BunBun 訪問



～ 委員会は会議室だけでやっているのではない… 現場でもやっているのだ!! ～

### ● ビジネス交流委員会 ●



平成18年11月6日(月)米子全日空ホテルにおいてビジネス交流委員会オープン委員会が行われた。当日はゲストに鳥取県西部中小企業青年中央会初代会長の

永瀬正治OBを招き、演題は「一経済人としての思い」についてディスカッション形式で進められた。

富山委員長挨拶の後、プロフィール・青年中央会についてお話をいただいた。

はじめに「青年中央会発足時に東部・中部・西部と創ったが、西部を創るときに米子市・境港市・西伯郡・日野郡を一つの大きな括りにしたのは今でもよかったと思っている。それは、他の経済団体のほとんどが米子市と境港市は一線を画しているが、青年中央会は、西部全体で色々なことを考えられる境目のない組織で、卒会した後も垣根のない色々な話ができるから」と冒頭述べられた。

次に「皆さんが持っている若さにはバネがありパワーがある。そして既成概念のない自由な発想、柔軟な頭で行動できる。青年中央会のような年齢制限のある団体は意識的に今をどう頑張るのか、どういう方向で頑張るのかなど団体での議論、個人個人の研鑽をして頂ければと思う」と熱い思いを語られた。

次に「山陰の商都米子市の復活・活性化をはかる為の今後の課題として、米子市の企業・経済人が元気に前向きに仕事に取り組める環境作り、地方分権・広域合併の時代に入り経済が活躍する舞台を広げるためのインフラ整備、今後活躍を期待できる若者の育成など課題は様々ある。そして地方の自立。米子の中だけでなく外とのリレーションが必要。自分たちの知恵を基に役割分担をし、分業と協業・ネットワークが今後のキーワードになると思う」

最後に経営哲学「対境理論」「秤の原理」について「自分が発展するには周囲の発展に寄与すること。秤にたとえて、自分の喜びは、相手に与える喜びも等しくなければならない」と締めくくられた。(記事:小川)



### ● 夢委員会 ●



木枯らしが吹く中、熱い連中が集まった。そう、「侍」後藤委員長率いる夢委員会だ。

普段別の委員会にお邪魔する事がないので些か緊張気味であったが、隅っこでしこしこメモをとる事にした。

役員会報告の後、今回のゲスト野嶋OBを招いて「中央会からの贈り物」という演題でお話をして頂いた。25歳と11ヶ月で入会された野嶋OBは中央会の語り部というべき存在だ。トライアスロンのボランティア参加の経緯やハンサム発行時の話題、現在の出欠確認フォームと自身の現役時代の出欠確認の問題は大して変わってない。中央会の永遠のテーマだろうと…。

入会当時は、知人も仕事でお付き合いのある人もいなかったという。「先輩会員のアドバイスもあり、自身でも思うことがあり、何が何でも中央会活動をしっかりやって認めてもらおうと努力した。」と、涙を流した日もあったとか。

「最初にトライアスロンに関わったのは参加会員の応援だった。バイクの伴走の時、ビールを大量に持ち込んだ宴会バスで『今70キロ出と一ぞ!』『ビール飲むか〜?』なんて言ったりしてどんちゃん騒ぎだった。」

「今一番力を入れている事業で子供達を対象に水辺の環境教室という危険の疑似体験みたいなことをさせている。今の子ども達は遊び方を知らない。寒中水泳も計画していて、究極のひもじさを経験させようと思っている。」

「私がこう語っているのは、子ども達に正しい事、正しくない事をキチンと伝えていくのは我々大人達の役目。我々がすべて正しいとは言わないけど、そういったこだわりは大切だと思う。トライアスロンもライフセービングも自分の中央会活動の中から生まれた【贈り物】という事なんです。」と語られた。

あと、こんな事も言われました。

「ひとつお願いというか何というか。先輩、先輩と崇められるのはあまり気持ちのいいものじゃないなあ。年上に対する最低限の礼儀だけはキチンとやってもらって、後は必要以上に気を使わないでほしい。」と。

終始和やかなムードで委員会を終え、先ほどの言葉を胸に秘め(笑)、懇親会へと移っていったのであった。

以上、BunBun訪問でした。

(記事:安岡)

## 新入会員オリエンテーションに参加して

平成18年11月21日(火)ホールサムインかいけにて「平成18年度第1回新入会員オリエンテーション」が夢委員会を中心とし開催されました。福田会長のご挨拶の後、武海直前会長より中央会会員としての心得をご教授いただき、中央会概要説明がDVDを使って行われました。今回のオリエンテーションのメインとなったのが、現役会員と新入会員とのディスカッションです。

テーマとしては、①「中央会」の魅力とは?②トライアスロンの方向性の二つが用意されました。現役会員の方々からの熱い言葉をいただき、中央会に対する思いを一層身近に感じる事ができました。新入会員が素朴に感じている事柄についても、参加された現役会員の方々の方々の視点からご意見をいただき、新入会員として今後の中央会での活動に対して非常に参考となりました。中央会を知れば知るほど得るものが大きいし、またその対のこともありうる、入会の動機は様々ではありますが、会員として何が出来るのかを模索しながら活動をしていきたいと思いました。

またトライアスロンに対する活動については、地域貢献としての手段とも捉えることができますが、それ以上にトライアスロンへのボランティア活動を通じて各会員が得てこられた「感動」の大きさに驚きを感じました。中央会での活動についてもトライアスロンへのボランティア活動に対しても、やはりやらされているのではなく、どれだけ主体性を持って取り組めるか、そうすることによって得るものも違ってくるかと改めて感じました。

(記事:内藤)



## PLAYBACK 中央会 -あの頃僕は若かった！-



第27期卒会  
堀田 收 OB

**Q. 中央会の活動で特に印象に残っていることはありますか。**

**A.** 中央会設立25周年記念行事を終えた後に会長に就任し、会長職を務めたことがやはり一番の思い出。無難にこなすつもりであったが、実力のある個性派揃いの副会長であったため、連日かなり白熱した議論を交わしたことが特に印象深い。

**Q. 入会した当時のことを話していただけますか。**

**A.** ちょうど30才頃、中央会と同時期に境港青年会議所にも入会。当時は時間的な余裕があったから両方の活動をかけもち出来たとおもう。当時の中央会は約120名の会員がおり、メンバーは個人的な人間が多くエネルギーが豊富であった。日本経済も成長期であったため、今より前向きな景気のいい話が多かったように感じる。飲み会も盛んだった。中央会は青年会議所と違って独自の強い団体で、自分達の価値観を重視した活動が出来て楽しかった。青年会議所はボランティア活動が盛んであるが、中央会は経済活動に重きを置いている。中央会では勉強会を活発に行い、青年会議所の活動とは大きく異なっていた。

**Q. 今の中央会に求めるものはありますか。**

**A.** 鳥取県西部の経済は沈滞気味であり、全体的に元気がない。中央会のメンバーにはカラ元気でもいから若さを前面に出して活動してもらい、当地の経済を盛り上げて欲しい。また近頃感じることは、より人間関係が難しくなっているように思う。コミュニケーションを生かして、どう組織を活性化するか、という経営課題は非常に重要。議論する価値は高いので是非やって欲しい。

堀田OBにはご多忙の中、お時間をいただきました。上手なインタビュー・司会進行が出来ず、堀田OBには大変ご迷惑をおかけいたしました。最後までお付き合いいただき本当にありがとうございました。  
(記事:村上・福庭)



平成18年11月5日(日)水鳥公園周辺にて県青中による親睦事業(魚釣り大会)が行われた。当日は秋晴れで絶好の釣り日和となり、東部26名・中部5名・西部41名より釣り自慢から初心者まで総勢72名が参加した。

冒頭、釜田県会長より「例年と趣向をかえ、今年度は魚釣り大会を企画しました。今日は大いに楽しんで親睦を深めて下さい」と挨拶があった。続いて東中西混成のグループ分け(15チーム)と競技内容(各チームの総重量で競い、個人賞[最長寸]で表彰)が説明され、開始の合図とともに各チーム思い思いのポイントに移動した。

初心者の会員は経験者からアドバイスをもらいながら仕掛けを投げ込んでいた。しかし、餌のゴカイに触れられず餌付けに苦戦

県青中魚釣りの親睦会開催

している人、遠投しようと思いきり投げ込むが手前には仕掛けが落ちない人、思っている方向に飛ばず糸と糸が絡み合っている人など珍プレーもさまざまあったが、各チーム優勝を目指し工夫しながら少しづつではあるが釣果が出だし歓喜の声が聞こえてきた。午後3時終了の合図とともに検量が行われた。優勝は7番チーム(木下・松江・今川[西部]・常田・八木[東部])総重量はぶっちぎりの2040g(ちなみに2位は1620g)

個人賞は中田副会長のご子息、桂介君で19.7cmだった。表彰後は全員で護岸清掃をし、家高直前県会長の挨拶で終了した。

スポーツ交流とはまた違った親睦の場を企画していただいた県出向の会員・釣りに参加せず裏方で昼食の豚汁等の準備に精を出してもらった会員にこの場をかりて一言。「お疲れ様でした！」

(記事:石川)



している人、遠投しようと思いきり投げ込むが手前には仕掛けが落ちない人、思っている方向に飛ばず糸と糸が絡み合っている人など珍プレーもさまざまあったが、各チーム優勝を目指し工夫しながら少しづつではあるが釣果が出だし歓喜の声が聞こえてきた。

午後3時終了の合図とともに検量が行われた。優勝は7番チーム(木下・松江・今川[西部]・常田・八木[東部])総重量はぶっちぎりの2040g(ちなみに2位は1620g)

個人賞は中田副会長のご子息、桂介君で19.7cmだった。表彰後は全員で護岸清掃をし、家高直前県会長の挨拶で終了した。

スポーツ交流とはまた違った親睦の場を企画していただいた県出向の会員・釣りに参加せず裏方で昼食の豚汁等の準備に精を出してもらった会員にこの場をかりて一言。「お疲れ様でした！」

(記事:石川)

## Try & Challenge ~夢をかなえるために~



わくわく発掘委員会  
森田 篤 会員

今回は、入会1年目の森田会員にお話を伺いました。

森田会員は2年前に脱サラされ、単身「おそうじ本舗」のチェーン店として米子市淀江町に店を構えられました。

**Q. 数少ないハウスクリーニングとして苦労した点は？**

**A.** 起業したときに米子店があったため、FCの関係で淀江と名乗らざるを得ず、お客様に距離を感じられて若干のデメリットがあった。また、エアコンをあまり多く使わない土地柄か、初年度はほとんどエアコン清掃の仕事がなく、苦しい日々が続いた。

**Q. 最初は知名度が低かったと思うが、PRの手段としてはどんなことをしたか？**

**A.** 折込広告、タウンページと、苦しい時にも繰返し広告を出して知名度を上げた。一度二度では効果はなく、繰返し出すことで効果が出てくる。特にタウンページは掲載費が高かったがその分、費用対効果があったとおもう。

業務内容は作業種類が少ないので面白くない所もあるが、お客様の感謝の言葉をいただくことで次へのやる気につながる。他との差別化として、環境に優しいエコ洗剤を使っているのも、満足してもらうことができるのだとおもう。

**Q. 最後に、今後の夢について語ってください。**

**A.** 大きな夢ではないが、地道に業務を大きくして、人を雇えるようになりたい。

柔らかい人柄の中に一本芯を持った森田さん。フランチャイズの一員としてのウラ話も聞かせていただき楽しい取材になりました。お忙しい中ありがとうございました。(取材:桑本)



SC鳥取応援

## ビッグフラッグ贈呈!!



平成18年11月24日(金)今年度青経連合同事業でSC鳥取を応援するビッグフラッグ贈呈式がやまつみスポーツクラブで行われた。青経連4団体の代表、SC鳥取の尾形代表をはじめ選手9名、報道関係者などが集まりJFLでも最大級の大きさ縦12m、横17mのビッグフラッグが披露された。米子青年会議所の吉木理事長が「皆さんは地域の誇り、頑張ってください」と激励、SC鳥取広崎副代表が「来年は勝負の年。皆さんとともに戦います。そしてJリーグを目指します」とお礼の言葉。最後に応援メッセージが書き込まれた。

2日後の11月26日(日)SC鳥取今季ホーム最終戦が東山陸上競技場で小雨の中、行われ約1,600人のサポーターの前で応援ビッグフラッグが披露され、試合も2-1と勝利し大いに盛り上がった。応援ビッグフラッグと共に来シーズンのSC鳥取の飛躍に期待したい。(記事:景山)



## 中海テレビ放送杯出場



平成18年11月12日(日) 12:30より、市営湊山球場において、中央会野球部唯一の公式戦「中海テレビ放送杯」の第1回戦BigMouth戦が行われた。

前日、1本の電話が入った。「明日はお前と心中だ。ちゃんと準備しておくように。」武海監督からである。「イメージトレーニングでは1本も打たれていません。任せてください。」監督は、その根拠のない自信に「???」だったはずである。

先攻で試合は始まった。1番バッターの小椋会員がヒットで出塁。1アウト2塁から右中間へ2ベースタイムリーであっさり先制。「ひょっとするかも…」皆がそう思った1回裏悪夢は

起こった。ピッチャーゴロを牧田が1塁へ暴投。ここから皆が引きずられるようにエラー。無安打で5点失った。これ以降も着々と加点された。レフト小椋会員の好プレー、代打岩崎会員のクリーンヒットなど、チーム全員が気持ちを切らせることなく踏ん張ったが及ばなかった。結果は「1対13」だった。

試合に足を運んでくださったOB、差し入れをくださったOBのお気持ちを胸に、いただいたハンカチをお守りとして頑張ったが壁は厚かった。今年最後の武海監督に1勝をプレゼントする事が出来なかった。残念。

しかし、OBの先輩方に見守っていただいている温かさ、またチームが一丸となってまとまる連帯感を感じ、中央会に入会してあらためて「良かった」と思える1日だった。来年はこのチームで勝ちたい。(記事:政治行政委員会 牧田 継夫)

## 11月度委員会報告

### 総務委員会

平成18年11月13日(月) 於:ぶどうの木 出席者/11名  
議題・会員拡大ツール作成について  
・忘年例会企画(案)について ・3分間スピーチ

### エコチャレンジ委員会

平成18年11月8日(水) 於:米子ニューアバンホテル 出席者/8名  
議題・グリーン購入について ・活動内容について

### ビジネス交流委員会

平成18年11月6日(月) 於:米子全日空ホテル 出席者/6名 他6名

### オープン委員会による講演会

講師:永瀬 正治OB  
演題「経済人としての思い」 米子の経済についての思いと商工会議所の取り組み、企業経営について

### メディアコミュニケーション委員会

平成18年11月7日(火) 於:(株)インサイト 出席者/13名  
議題・ハンサムについて ・HPについて  
・中央会番組について

### 政治行政委員会

平成18年11月7日(火) 於:ホールサムインかいけ 出席者/10名  
議題・今後の委員会の方向性について  
・意見集約

### わくわく発掘委員会

平成18年11月8日(水) 於:ホールサムインかいけ 出席者/11名  
議題・オープン委員会開催の打ち合わせ  
平成18年11月19日(日) 山陰史跡巡りWaku-Wakuツアー開催

### 地域スクラム委員会

平成18年11月7日(火) 於:ホテルサンルート米子 出席者/9名  
議題・担当例会打ち合わせ ・Jリーグ視察について  
・政治行政委員会との共同事業について

### 夢委員会

平成18年11月8日(水) 於:米子ニューアバンホテル 出席者/12名  
講師:野嶋 功OB  
講演「中央会からの贈り物」

※役員会、連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。詳細については各委員長までご参照ください。

### 12月役員会報告

12月定例忘年役員会が平成18年12月1日(金) ホテルサンルート米子にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・11月例会報告の件
- ・12月忘年例会開催の件
- ・県青年中央会報告の件
- ・その他

### 12月忘年例会案内

と き:平成18年12月18日(月)  
19:00~開会  
ところ:米子全日空ホテル  
OB会員並びに来賓を招いて交流と懇親を深める。  
新入会員アトラクション  
担当:総務委員会

### 新入会員

「コピーをして名簿にお貼りください」

(米子市) (米子市)

**内 藤 幸 一** A型  
三井生命保険(株) 米子営業部 営業部長  
生命保険業  
〒683-0052 米子市博労町4-358-6  
TEL 34-2518 FAX 23-0484  
H18.11 (H18年) 入会 (推薦者) 花園(直) 大岡(康)  
(EM) Kouichi\_Naito@mitsui-seimei.co.jp S 43.12.5生

〈コメント〉この度、鳥取県西部中小企業青年中央会に入会させていただくことになりました内藤と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。若輩者でありますので、今後会員の皆様にご迷惑をおかけすることが多々あるかとおもいますが、会員の皆様からのご指導ご鞭撻をいただきながら、会員の皆様と親交を深め、切磋琢磨しながら自己を高め、地域発展に貢献して参りたいと存じます。

(総務)

**永 田 健 司** A型  
(株)ランドサイエンス 本社営業分社 リーダー  
農業、種苗、生産資材卸売業  
〒683-0853 米子市両三柳2864-10  
TEL 34-1211 FAX 39-0333  
H18.11 (H18年) 入会 (推薦者) 遠藤(道) 中村(臣)  
(EM) k-nagata@landscience.co.jp S 40.7.26生

〈コメント〉皆さんこんにちは!株式会社ランドサイエンスの永田と申します。この度、歴史と伝統のある青年中央会に入会させていただきました。どうぞよろしくお願ひします。会の一員として今以上に行動、言動に責任をもたなければならぬと、とても緊張しています。40歳になってからの遅い新人ですが皆様のご指導よろしくお願ひします。会社の方では営業を担当しています。趣味はサッカーです。好きな芸能人は鈴木京香です。

### 12月ハンサム編集後記

大山もうっすらと雪が積もり朝夕めっきり寒くなりました。我が家ではいつ暖房器具を出そうか迷っています。さて早いもので年末に近づき、第32期中央会が動き出してから半年経とうとしています。皆さんはどんな半年でしたでしょうか?各委員会共忘年会をされるとおもいますが、会員同士親睦を深めるとともにこの半年を振り返っていただき、更なる委員会活動の向上を目指していただきたいと思います。体調管理をしっかりとし、飲みすぎには注意して下さいね。(記事:石川)

